

## 群馬大学工業会・東海連合支部（有志による）第2回若手の会 報告書

日 時：2022年12月3日（土）18：00－20：30

場 所：嘉文センチュリー豊田ビル店

参加者：村岡睦（修-H15M）、山田章博（修-H16B）、熊軼（修-H30E）、内山具典（修-H18N）（清水堪蔵（S49C）の5人

7月2日の第1回若手の会(平成15年卒より若い人の集まり)に続いて、第2回若手の会を実施した。本日13：00－17：00に行われた東海連合支部の役員会の後、村岡さん（オブザーバー参加）と清水は会場に移動した。今回は8名に連絡した中で、若手6名が参加の予定であったが、コロナの感染者数が増えていることから、勤務先の施策により本島さんと片山さんは欠席への変更となった。

内山さんは初参加であった。名簿には群馬大学大学院のままになっていたが、家電メーカーに勤務されているとの事。内山さんと山田さんには、学生時代同じ学科で時期を過ごしたため、共通の話題に話が弾んでいた。出身地の話になると、清水はNHK大河ドラマに出てきた武士の鑑の「畠山重忠」の生誕地と墓の近くの埼玉県深谷市畠山を伝えた。

名古屋大学院生3年の熊さんは、12月に英文ジャーナルに論文を1本投稿する予定との事。熊さんからは中国の現況を中国人留学生の立場から聞いて有意義であった。山田さんからは、元勤務の会社の関係で、岐阜支部役員の網野さん、押見さんは大変お世話になったとの話があった。また八木節同好会に入っていたので、同好会の顧問をされていた群大の原野先生は今でも交流があり大変お世話になっているとの話があった。村岡さんは学生時代には山登り系のサークルに属して、その会を通じて奥さんと知り合ったとの事。同じ世代の仲間が集まって、共通する話題も多く盛り上がり、あっという間の2時間半だった。



左から村岡さん、山田さん、清水、内山さん、熊さん

今後の予定：これからも年に2－3回は集まりたいとの事でしたので、次回は2023年の6月－7月に開催する予定。参加者が増えて新しい流れが出来る事を期待したい。

（文責：世話役 清水堪蔵）